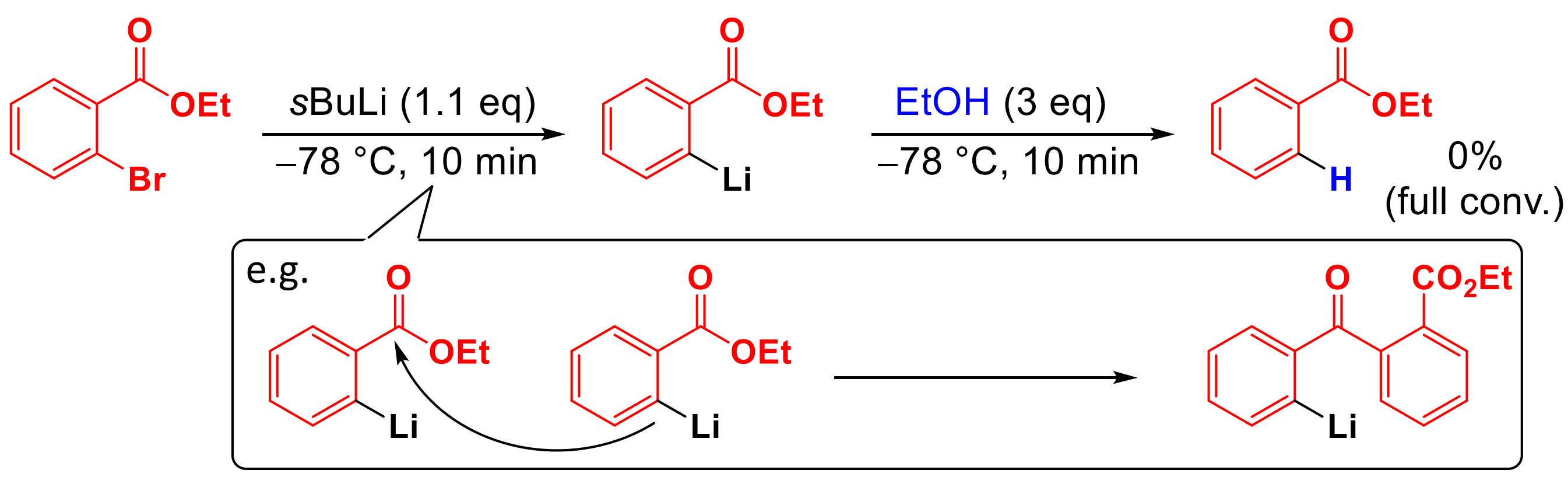
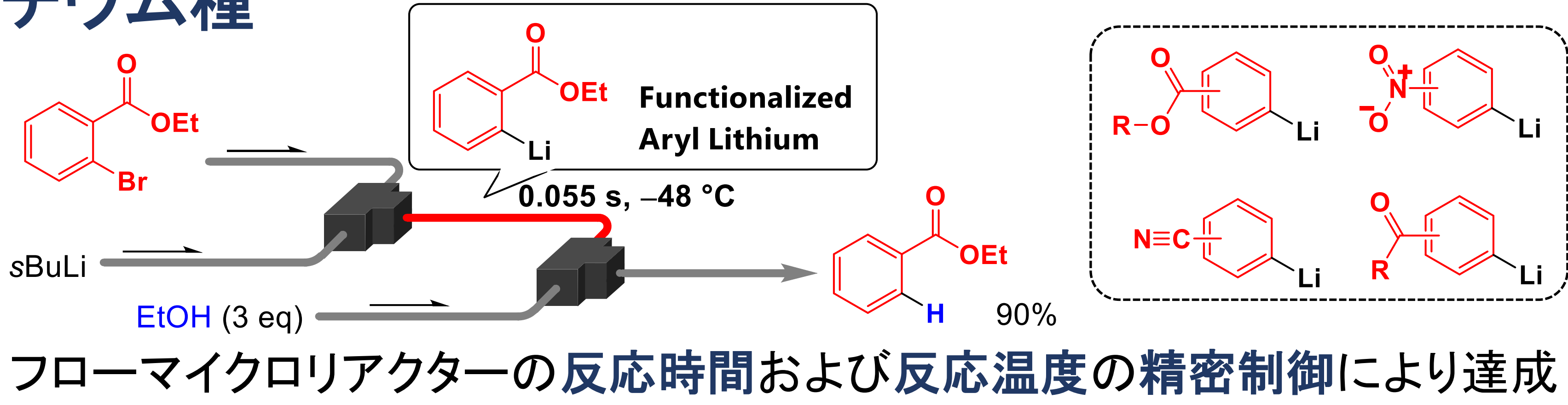




研究背景: 求電子性官能基を有するアリールリチウム種



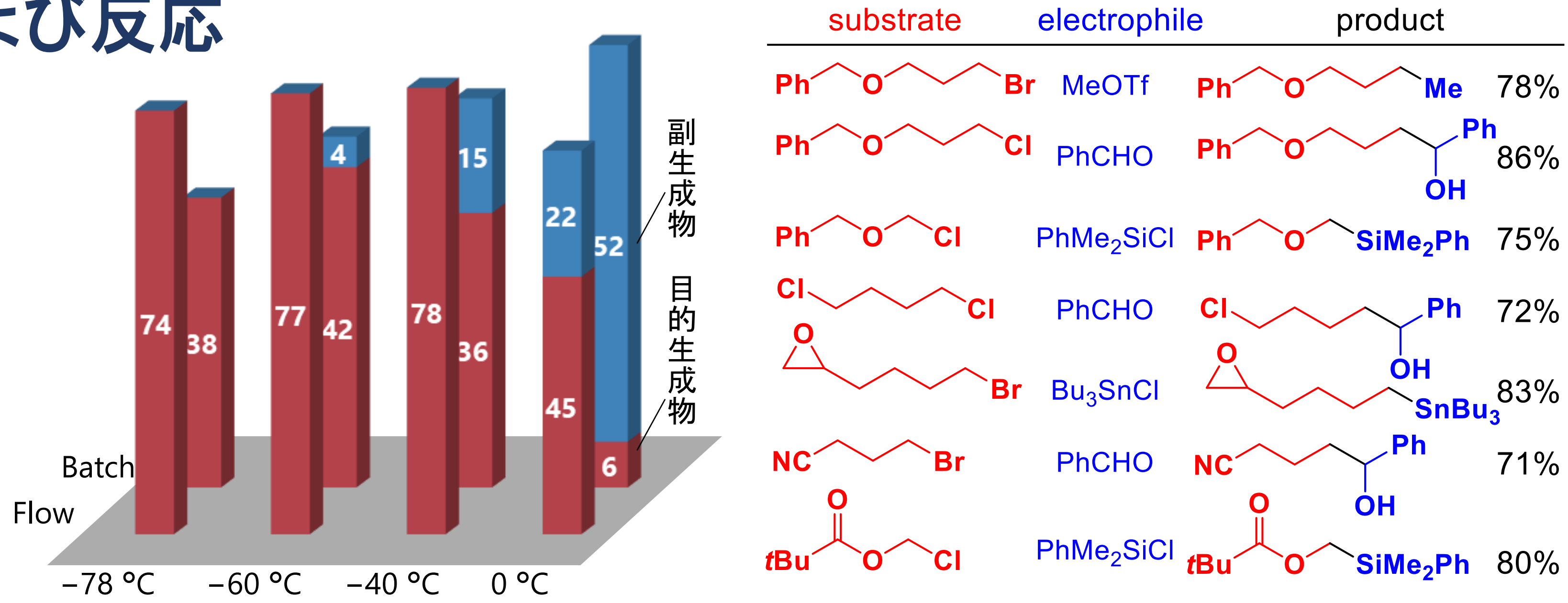
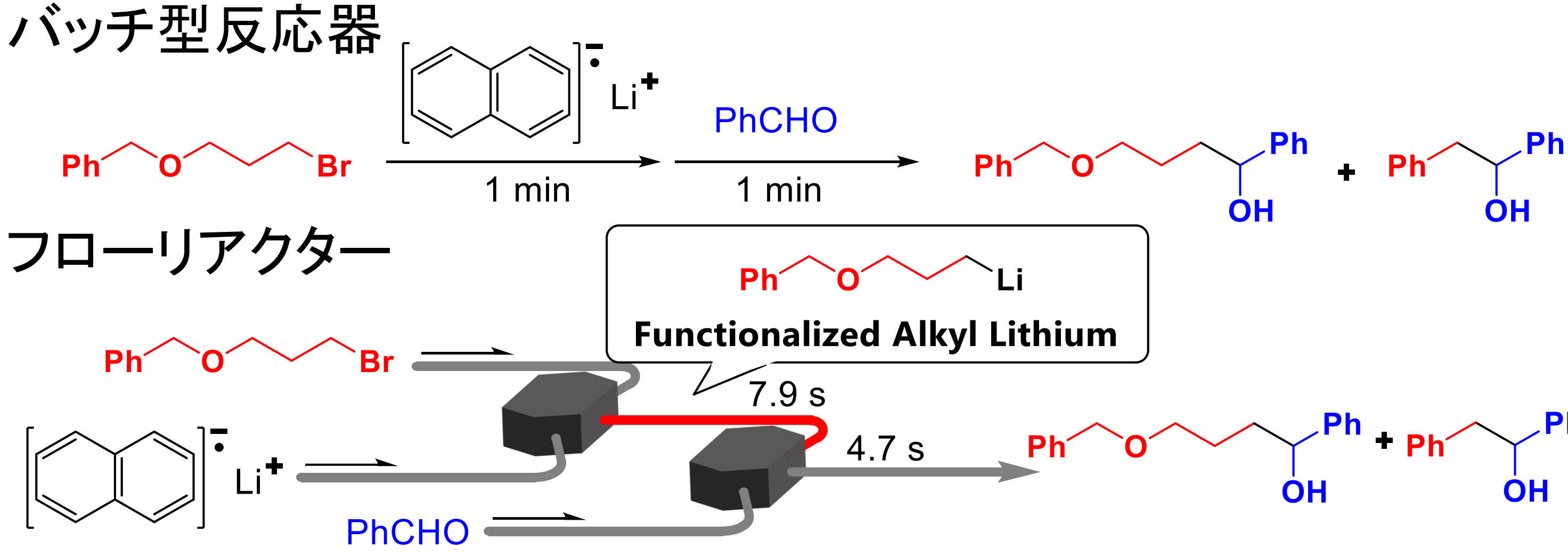
分子内・分子間反応により分解してしまう



Esters: *Angew. Chem. Int. Ed.* **2008**, *47*, 7833; *Chem. Eur. J.* **2010**, *16*, 11167. Nitros: *Angew. Chem. Int. Ed.* **2009**, *48*, 8063. Nitriles: *Org. Biomol. Chem.* **2010**, *8*, 1212. Ketones: *Nat. Commun.* **2011**, *2*, 264. Mini review: *Tetrahedron Lett.* **2019**, *60*, 150923.

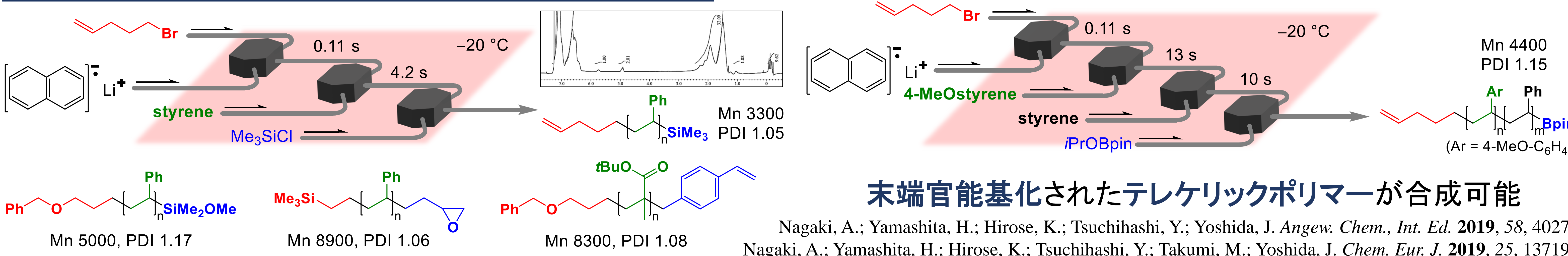
1. 官能基を有するアルキルリチウム種の発生および反応

アルキルリチウム種の発生および求電子剤との反応



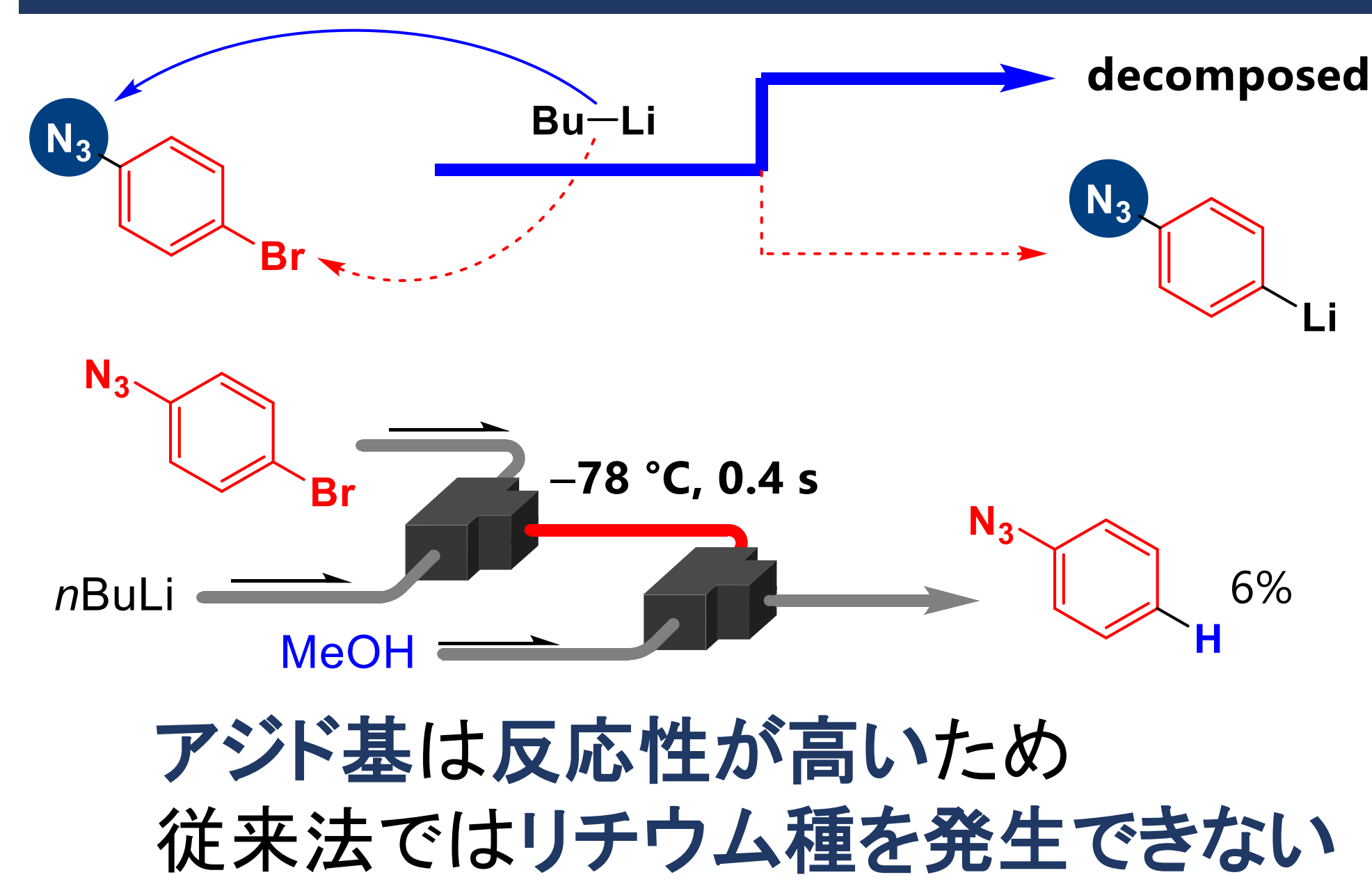
バッチ型反応器では困難なアルキルリチウム種の発生および反応を達成

1級アルキルリチウム種を開始剤とするアニオン重合

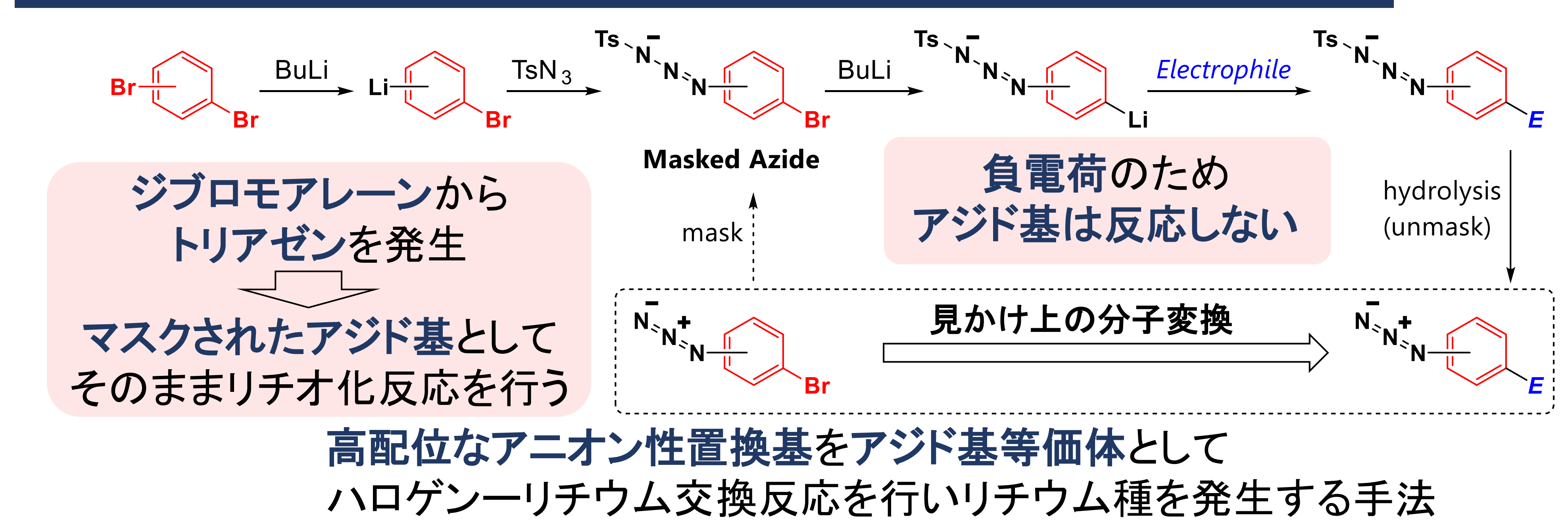


2. マスクされたアジド基を有するアリールリチウム種の発生および反応

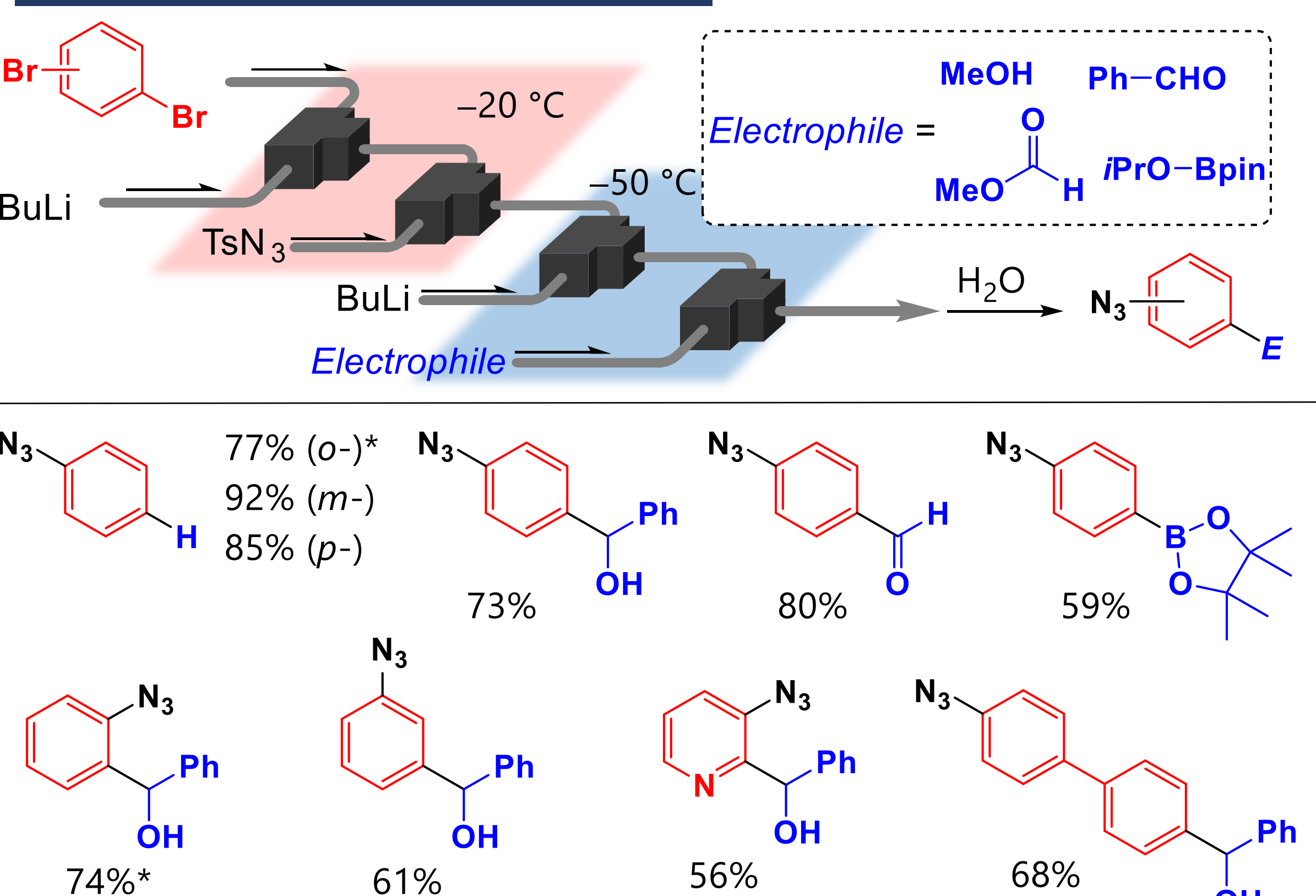
アジド基を有するアリールリチウム種



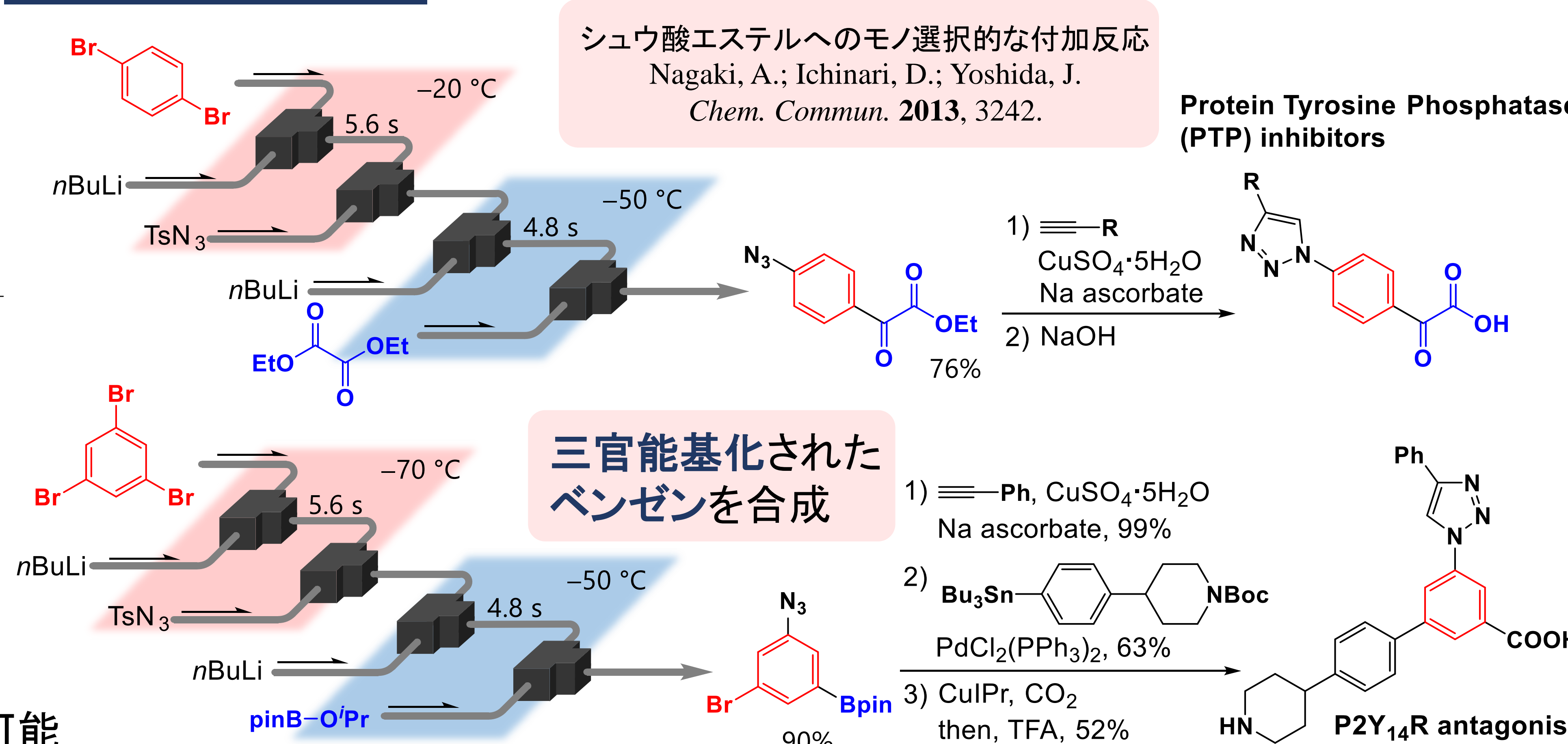
アジドのマスクングによるリチウム種の発生法 (Masked Azide法)



発生および反応の検討



生理活性物質合成



アルコール・アルデヒド・ボロン酸エステルなどが合成可能